

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係（沖縄返還）6

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43782">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43782</a>

41  
10  
13  
宇川局長、國務省要人会談

石田ヲツカシ回受下  
送るべき旨居るヲ  
申附するヲ  
石田

北米局長  
参事官  
北米課長

極秘

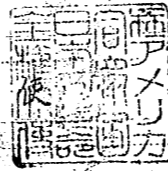
再上申付下  
渡の参事官  
ハミクロネシア問題  
沖波問題

海防部 政 第7046号

昭和41年10月13日

外務大臣殿

在 米内大



安川局長と國務省要人公送(報告)

在川北米局長より当地出張の折 9月26日  
國務省より正任法公送(在川概要下記の如し)  
報告す。公送相手は 極東総局ハシ行一 次官補  
同スナイダー-日本局長 大蔵省 佐々木 特別補任  
官、陸軍省 マツカバ 次官、同ホム 次官代理  
等であった。右お当多均 次本 同席にて

記

石田  
山田  
中田  
橋本  
原須

次長	長
副次長	内務
参事官	吉田
参事官	山田
参事官	中田
参事官	橋本
参事官	原須



GA-1

外務省

1. スナイダー-日本局長との会談(ヒートリー  
課長同席)

(1) ミクロネシア 戦時補償問題

スナイダーは、本件についてはバンディ次  
官補よりお願ひすることになっているが、米  
側としては来年1月には国連信託統治委  
員会のミッションが現地査察を行うことあり、  
それ迄に解決されていなければ日米双方の  
熱意を疑われる次第もあり、出来れば10  
月中にも東京で交渉を開始し解決したい  
と希望した。よって安川局長より自分は本  
件交渉について直接担当しては居なかった  
が法律問題を含め未だ大蔵省との間に  
意見が調整されていず。帰国後自分  
としても出来れば努力したいが何時から交渉

GA-1

外務省

に入り得るかについてはコミットできないと答えた。

2. バンディ次官補との会談(バーカー次官補代理、スナイダー同席)

(1) ミクロネシア問題

スナイダーより、短く、本件の早急な解決を希望する旨述べたので、安川よりスナイダーの場合と同様の趣旨を述べておいた。

(1) 沖縄問題

安川局長より教育権分離返還問題についての最近の日本国内事情を説明ののち、沖縄については森長官の分離返還論は日本側が西瓜の種子の存在中味のみを食べようとするより存在の、それでは不可であり、真二つに割って種子のあるところもないと、米が双方に分け合って食べ

なければ存るないと思ふと述べ、それより、日・琉球間の教育の格差を存くするため、教師の交換、又日本国内で地方自治政府と中央官庁との間で行われている人事交流の如く琉球政府と日本政府又は地方自治体との間の人事交流を認めることにより琉球政府の行政能力を向上せしめること等考慮する必要がある(尤も琉球政府が求める交換に賛成するや否や又日本人の方も好んで行ってくれる人があるか否か問題であるか)と述べたところ、Holtより琉球政府の官吏は琉球籍の人間でないと存る旨の規定が并務官通達にあり、これを改正する必要があるか、考慮に値する提案であるので検討してみたいと述べ

た。安川局長より、いすぐにしていしつじつ内  
題については常に何か動いていることか日  
本の過激派を押える意味から国民感情  
から言っても必要であると述べておいた。

(2) 中共の紅衛兵問題

バーネットより中共の紅衛兵問題を如  
何に考へるやらの質問があったので、安川よ  
り、個人的な意見であるが紅衛兵問題は  
中共に対する日本人一般のイメージを壊し  
たといふ意味においては核爆発実験より  
日本国民に与えた影響は強烈で特種  
的であると思ふと述べた。